

児童アンケート

肯定的回答の割合(%)

「とてもそう思う」「そう思う」「あまり思わない」「思わない」の選択肢のうち、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合

保護者アンケート

96.2%	学校は、子どもたちが行くのを楽しいと言える学校になっている。	1	学校へ行くのは楽しい。	89.7%
96.0%	学校は、児童の興味・関心を大切にし、学習意欲を高める取組をしている。	2	学校の勉強はよく分かる。	92.3%
96.0%	学校は、読み・書き・計算などの基礎的・基本的な学力が身に付くように指導している。	3	毎日、家で(学年×10分以上)の勉強をしている。	92.1%
83.3%	学校は、児童が主体的に学習に取り組む姿勢を育てるために、家庭学習の習慣化を図る取組をしている。	4	みどりの道や地域にでかけたり、地域の人から教えてもらったりする活動は楽しい。	92.1%
100.0%	学校は、みどりの道や地域の素材を活用したり、地域の人から学んだりする活動を取り入れ、ふるさとを愛する子どもの育成に努めている。	5	学校図書館を使って勉強することは楽しい。	89.7%
92.3%	学校は、学校図書館を活用した授業や、子どもたちが家庭でもすすんで読書をするような取組を行っている。	6	学校や家ですすんで読書をしている。	84.2%
95.8%	学校は、人権を尊重する意識を育てる取組を進め、思いやりの心を育て、温かい人間関係づくりに努めている。	7	だれにでも優しくするようにしている。	94.9%
85.7%	学校は、教育相談やアンケート調査などにより実態把握に努め、適切に子どもの相談にのったり、指導したりしている。	8	困ったことがあったとき、気軽に先生に相談できる。	76.9%
87.0%	学校は、道徳や社会のルールを守ろうとする意識やマナーの向上を図る取組を進めている。	9	学校のきまりを守り、安全に生活しようとしている。	100.0%
88.0%	学校は、子どもたちが元気のよいあいさつや返事ができるように取り組んでいる。	10	すすんで元気のよいあいさつや返事をするようにしている。	97.4%
		11	給食当番や、そうじの仕事をすすんでしている。	97.4%
87.5%	学校は、子どもたちの体力向上を図る取組を行っている。	12	やる気まんまんタイムでたくさん走ったり、休み時間などにしっかりと体を動かして遊んだりしている。	89.5%
100.0%	学校は、「早寝・早起き・朝ご飯」など、よい生活習慣の定着を図る取組を進めている。	13	「早寝・早起き・朝ご飯」を心がけている。	89.7%
92.3%	学校は、テレビやゲームなどメディアとの付き合い方を子どもたちが意識できるような取組を行っている。	14	テレビを見たりゲームをしたりする時間が多くならないように気をつけている。	89.5%
96.0%	学校は、災害や不審者への対応や交通安全の指導など、子どもの安全を守る取組をしている。	15	地震や火事が起きた時や、不審者に出あった時にどうしたらよいか知っている。	94.9%
96.0%	学校は、課外活動(陸上・水泳・体操・音楽会等)を通して、体力向上や音楽による表現力の育成をめざした取組をしている。	16		
91.3%	学校は、施設・設備の整備や掲示物等の学習環境整備に努めている。	17		
85.7%	学校は、いじめ防止や生活安全など、生徒指導上の課題への対応を迅速に行っている。	19		
96.0%	学校は、たよりや授業公開日等の開催により、学校の様子が分かるように、保護者や地域に情報を発信している。	20		
100.0%	学校は、PTA人権研修や人権教育に関する公開授業、校内人権週間など、人権課題・同和問題の理解と解決に向けての取組を進めている。	21		
100.0%	学校は、保護者や地域の声を大切にし、地域や社会の諸活動に積極的にかわり、地域に開かれた学校づくりを推進している。	22		

十二月には、保護者の皆さんに「学校評価アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。今回は、その「学校評価アンケート」と児童が十二月に行った「学校生活アンケート」の集計結果をまとめたものをお知らせします。

上のグラフにその結果をまとめています。数字は肯定的回答の割合(「とてもそう思う」「そう思う」「あまり思わない」「思わない」の選択肢のうち、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合)をパーセントで表したものです。また、質問項目①～⑮については、児童と保護者の関連のある質問項目として並べて表示しています。⑯は保護者のみの質問項目です。

児童アンケート、保護者アンケートともに、肯定的回答の割合は概ね八割を超え、特に緊急に対策を講じるべき事柄はないと考えますが、次の二点については、重点課題として今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。

児童と教職員の人間関係づくり

昨年度のアンケートから、第一に改善をしなければいけないこととして取り組んできたのが、項目⑧についてです。ここにアンケートを学期に一回行い、教職員の誰とでも相談できるようになり、スクールカウンセラーと相談できるようにしたりするなどの取組を進めてきました。

保護者のアンケート結果は、約十%肯定的回答が増えましたが、児童については昨年度とほぼ同数という結果です。子どもたちにとって、もっと気軽に相談できる学校・教職員になるように継続して取り組んでいきたいと考えています。

気持ちのよいあいさつ

項目⑩については、昨年度と同様、児童の肯定的回答よりも、保護者の回答が少ないという傾向が見られます。また、学校での様子を見るに、気持ちのよいあいさつを、いつでも誰にでもできる児童はまだ少ないように感じています。

昨年度の学校関係者評価委員会で、評価委員の方から「ほとんどの子がバス通学になり、地域で出会い、あいさつをしたり、言葉を交わしたりすることが少なくなりました」という現状についてのお話を伺いました。こういう状況の子どもたちだからこそ、相手がうれしくなるような、気持ちのよいあいさつを、自分からできるようにしていきたいと考えています。

保護者⑯の設問「学校は、子どもたちが、進んでそうじや当番活動を行えるように取り組んでいる。」については、昨年度のアンケートで、学校の様子が多分、この中で評価するのが難しいというご意見が多くありましたので、本年度の項目からは削除しています。

今回のアンケートの結果は、教職員の学校評価と合わせて、後日行われる学校関係者評価委員会での年度に合わせた取組の方向性を決める際の資料として活用します。

保健室来室者数のデータ  
(比較のため4月～12月のデータです)

今年度	けが 163件	病気・体調不良 55件
昨年度	けが 178件	病気・体調不良 102件
一昨年度	けが 150件	病気・体調不良 243件